

平成21年3月31日

報道機関各位

福井県企業局

電気事業譲渡に関する基本合意書の締結について

本県の行財政改革の一環として、企業局が経営する電気事業を民間に譲渡することになり、平成20年10月15日に北陸電力(株)を売却候補者として選定し、これまで鋭意協議を進めてきました。

このたび、福井県と北陸電力(株)との間で電気事業資産の譲渡に関する基本的な事項について合意に達し、本日、基本合意書を締結いたしましたのでお知らせします。

1 合意の内容

(1) 譲渡対象資産

県企業局が所有する7発電所に係る土地、建物、発電用施設及び権利

(2) 譲渡日

平成22年3月31日

(3) 譲渡先

北陸電力株式会社(富山市牛島町15番1号)

(4) 譲渡価格

72億2,500万円(消費税及び地方消費税相当額を除く。)

(5) その他

福井県が電気事業者として住民、関係団体および他の事業者と締結している契約および協定の承継

2 今後のスケジュール

譲渡に当たり必要となる国等への関係法令の手続きを進めるとともに、県議会の予算の議決を得た後、譲渡契約を締結し、平成22年3月末に譲渡する。

(参考) 本県電気事業の概要

昭和25年、福井県は荒廃した産業や生活基盤の復興を図るため、九頭竜川水系の真名川上流に洪水調節や砂防、農業用水の確保および発電を目的とした多目的ダム（笹生川ダムと雲川ダム）を建設する真名川総合開発事業を計画した。本県の電気事業は、その一環として戦後復興期の電力不足を解消するために、昭和28年に中島発電所の建設に着工し、昭和32年に両ダムの完成とともに北陸電力に対して電力供給を開始した。

その後、滝波川第一発電所、真名川発電所等を建設し、また地球環境問題の関心が高まる中、自然エネルギー利用促進のための先導的立場から、平成14年に事業用風力発電所としては福井県で最初の国見岳風力発電所を建設した。

今日まで、7発電所において県内の安定的な電力供給に貢献してきた。

(1) 供給電力量等

年間発生電力量 約2億4,500万kwh（一般家庭 約6万8000世帯分に相当）

(2) 発電施設の概要

発電所名	所在地	運転開始年月	最大出力(kw)
中 島	大野市中島	昭和32年 2月	18,000
滝波川第一	勝山市北谷町木根橋	昭和40年 2月	12,300
真 名 川	大野市五条方	昭和52年 4月	14,000
山 口	坂井市丸岡町上竹田	平成 元年 6月	1,900
中 島 第 二	大野市中島	平成 4年12月	2,400
広 野	南条郡南越前町広野	平成 8年12月	1,400
国見岳風力	福井市国見元町	平成14年12月	1,800
合 計			51,800

問い合わせ先

企業局電気課

課 長 小 林

課長補佐 戸 田

0776-20-0538 (直)

0776-21-1111 (代)

(内線4020)